

<プログラム>

[i] ハリストス正教会聖歌より

- | | | | |
|---------------------|----|----------|----|
| | 指揮 | 佐藤 | 洗 |
| 1. 神は我らと共に | | カルツスキー | 作曲 |
| 2. いと高きには光栄 | | ホルニアンスキー | 作曲 |
| 3. 天主経 (主の祈り) | | ゲドロー | 作曲 |
| 4. ムノーガヤ リエータ (幾年も) | | ホルニアンスキー | 作曲 |

[ii] 信時潔作品集より

- | | | | |
|-----------|----|----|----|
| | 指揮 | 千葉 | 了道 |
| | 伴奏 | 石川 | 勲子 |
| 1. 春の彌生 | | 慈鎮 | 和尚 |
| 2. 子等を思ふ歌 | | 山上 | 憶良 |
| 3. やまтоには | | 舒明 | 天皇 |

[iii] 青雲賛歌 ケヤキの家

- | | | | | |
|--|----|-----|----|------|
| | 詩 | 宮静枝 | 曲 | 伊藤正利 |
| | 指揮 | 千葉 | 了道 | |
| | 伴奏 | 石川 | 勲子 | |

[iv] 混声合唱組曲 河童と蛙

- | | | | | |
|-----------------|----|------|----|------|
| | 作詩 | 草野心平 | 作曲 | 千葉了道 |
| | 指揮 | 千葉 | 了道 | |
| | 伴奏 | 石川 | 勲子 | |
| I. 河童と蛙 | | | | |
| II. 青イ花 | | | | |
| III. 祈りの歌 | | | | |
| IV. On The tree | | | | |

[v] 混声合唱ためのカンタータ 土の歌

- | | | | | |
|----------|----|------|-----|-----|
| | 作詞 | 大木惇夫 | 作曲 | 佐藤真 |
| | 指揮 | 千葉 | 了道 | |
| | 伴奏 | 田村 | 久美子 | |
| 1. 農夫と土 | | | | |
| 2. 祖国の土 | | | | |
| 3. 死の灰 | | | | |
| 4. もぐらもち | | | | |
| 5. 天地の怒り | | | | |
| 6. 地上の祈り | | | | |
| 7. 大地讃頌 | | | | |

<団員名簿・出演者名簿>

<指揮者・ピアニスト・役員>

| | | |
|---------|------|----|
| 常任指揮者 | 千葉 | 了道 |
| ピアノ伴奏者 | 石川 | 勲子 |
| 委員長 | 牛 | 越 |
| 副委員長 | | |
| 会計 | | |
| パートリーダー | Sop. | |
| | Alt. | |
| | Ten. | |
| | Bas. | |
| アナウンス | 大泉 | 典子 |

< Sop. >

| | | | | | | | |
|----|----|----|----|-----|-----|----|-----|
| 阿金 | 部隆 | 代子 | 遠藤 | 喜美栄 | 太田 | 田和 | 和子 |
| 柴田 | 矢妙 | 子子 | 菅高 | 美子 | 駒木 | 木中 | 和子 |
| 中村 | 裕静 | 子子 | 野崎 | 千枝 | 田井 | 井明 | 子子 |
| 藤沢 | 昭子 | 子子 | 吉田 | 利加 | 佐々木 | 裕子 | (休) |

< Alt. >

| | | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 伊藤 | 藤村 | 尚喜 | 子子 | 内久 | 田慈 | 喜代 | 鎌澤 | 光子 |
| 柴藤 | 田村 | 富葉 | 子子 | 長沢 | 世良 | 世智 | 寒河 | 怜子 |
| 山 | 村口 | 陽子 | 子子 | 大和 | 光裕 | 子子 | 山根 | 公代 |
| | | 厚子 | 子子 | 吉嶋 | | | | 美子 |

< Ten. >

| | | | | | | |
|----|------|----|----|---|----|-------|
| 尾形 | 利夫 | 佐々 | 木壮 | 一 | 福田 | 清 |
| 藤村 | 雄治 | 松坂 | 友攻 | 晃 | 吉田 | 睦郎 |
| 菊池 | 康(休) | 大友 | | | 小川 | 克己(休) |

< Bas. >

| | | | | | | |
|----|---|----|------|---|---|---|
| 牛越 | 恂 | 金 | 豊 | 斎 | 藤 | 宏 |
| 佐藤 | 洗 | 木野 | 太郎 | 照 | 井 | 隆 |
| 山根 | 昭 | 目石 | 和充 | | | 一 |
| | | 川 | 稔(休) | | | |



ご 挨拶

北声会合唱団委員長 牛越 恂

本日は、皆様方にはご多忙中のところ、第20回定期演奏会においでいただき、誠に有難うございます。一口に20回目と申しましても、今50歳の実年団員が第1回の演奏会の頃は30歳の青年であったわけですから、今更ながら20年という歴史の重み・意義を深く感じております。

北声会は、その前身の盛岡放送合唱団、杜陵合唱団とたどると、歴史は更に古く、それぞれ、時代の目的に応じながら、輝かしい活動をしてきました。北声会と改組してからは、十年一日の如く、地味にコツコツと活動してきました。団員は、勉強はあまり好きでない(?)が、合唱が好きで、歌うのが楽しいという人達ばかりです。そうして、自分達の歌う楽しみが聴く人に少しでも伝わり、生活に潤いがもたらされたらと、また、千葉了道先生という岩手に根ざした作曲家の作品を演奏することによって、その素晴らしさを少しでも分かち合い、さらに岩手の文化にはんの僅かでも貢献できたらという、あまり気負わない目的をもって、牛歩の如く活動しております。

「コンクールに出場したら!」「もっと垢抜けした曲をやったら!」「合唱を通して、芸術とは何か、人間とは何かを深く追求したら!」等々のご意見も各方面からいただきます。私達は、このようなご意見は、北声会を心配して下さるお気持ちと励ましの言葉としてとらえ、常に自省しております。しかし、杜陵合唱団入団当時16歳、現在56歳と、40年間も小さな目的を心にしっかり持って頑張っている団員もおります。こんな愚直な歩み方をする合唱団があっても良いのではないのでしょうか。

今夜の演奏会も、何のパフォーマンスもないではありますが、皆様と過ごすこの貴重なひと時の中で、楽しさを分かち合い、これをきっかけに、合唱とか、音楽全般に興味を持ち、更に人間と人間のコミュニケーションができれば望外の幸せです。

最後に、今回の演奏会にご後援ご協力いただきました各位に、心から感謝申し上げ、更に精進の決意を述べ、あいさついたします。



20年を省みて

常任指揮者 千葉了道

20周年と聞いて、あ、そんなになったかと、まことに感慨無量である。多くの曲折をへて、北声会合唱団として新発足をしたのであったが、やはり、成功・失敗の繰り返しかえしであった。然しながら、楽しい20年間であった。

元氣一杯で走り過ぎたり、病気で指揮出来なかったり、団員の皆さんには、色々と苦勞をかけた。でもそこには団員の温かい協力、団結があった。これが北声会の特徴で、家庭的な雰囲気となって演奏にプラスになり、時にはマイナスになった。特に私には有難い合唱団であった。作曲の意欲をかきたて、出来あがれば演奏してくれる。作曲するものに、この上ない幸せであった。私の合唱作品の殆どが北声会の為に書いたものであると言っても過言ではない。

演奏は、団員が演奏の喜びを味わうと共に、聞いて下さる方々の楽しみとなるものでなければならない。が、とすると、団員だけの楽しみだけに終るといふ過ちをおかす。この反省は常々あった。この繰り返しの中で、世の中も変り、合唱団も体質を変えて来たように思う。20年の足跡を振りかえり、更にすぐれた合唱団に育つことを祈念しよう。

今、世の中は音の氾濫時代である。今こそ、健康な音楽とは何かをきびしく問うべき時である。北声会合唱団は、そのさきがけとなるべく努力しよう。

最後に、いつも温かく声援をおくって下さる聴衆の皆様は心から御礼を申し上げる。

いつまでも熱い心で

岩手県合唱連盟理事長
盛岡コメット混声合唱団指揮者
元北声会合唱団員

松田 晃

〈北声会合唱団〉は岩手県内における最も長い歴史を有する合唱団です。その流れは遠く〈杜陵合唱研究会〉に溯り〈NHK盛岡放送合唱団〉を経て現在に至っているのですが、特筆すべき事はその40年近い以前から合唱団と共に在り、ずっと歌い続けている人々が居られる事です。Sop.の〈金矢妙子〉、Ten.の〈吉田睦郎〉、Bas.の〈佐藤洸〉の人々がそうです。私の一般合唱団員としてのスタートにも昭和24年高校3年の時の杜陵合唱研究会でした。5日に一回の練習日は、私にとって真に未知との遭遇でした。それは目の前に広がるそれは素晴らしい世界でした。楽譜もよく解らぬ私には、初見のよくきく前記3人の先輩達はまさに驚異そのものでした。この先輩達が今も変らぬ情熱をもって歌い続けているのを見る時、私は人間の心の中にある大切なものを見せられている思いにとられるのです。

そしてその合唱団の中心にはいつも〈千葉了道先生〉が存在していました。千葉先生は岩手県音楽人達の育ての親であり、私にとっても、進路を決める大切な時にいつも関わりを持ってくださった方です。先生は生命にかかわるような2度の大病も見事に克服され、昨年は文化庁〈地方文化功労賞〉、岩手日報社〈岩手日報文化賞〉、そして今年は〈岩手県芸術文化協会表彰〉を受けられました。

アマチュア合唱団の指導者にとっての何よりの励ましは〈合唱団員の熱いハート〉です。皆さんの中にはその事を続けて来られた見本になる人々が居られます。その心を受け継いで行く事が合唱団をより良くする何よりの道と思っております。そしてその熱いハートを世の人々にも感じさせて頂きたいと思っております。

